

埼玉王

設立総会

名誉会長に土屋知事が、 会長に原 宏氏が就任



民間レベルによる両国の友好親善を図っていきたい」と抱負を述べました。

この日、出席したのは県内の企業、団体のトップの方々、百十人で、総会後にはタイ王国大使館のモンコン二等書記官による講演会が行われました。懇親会には土屋知事と講師を務めたモンコン二等書記官の他に埼玉大に留学生として勉強している学生二人も来賓として出席し、当友好協会設立後初の友好親善の舞台に花を添えました。

当友好協会設立に向けては、昨年十二月二四日の設立発起人会開催以来、数度の役員会開催の他、度重なる打ち合わせや案内状発送、事務連絡など関係者の努力がありました。

去る三月十六日、浦和市民会館で、当友好協会の設立総会が開催され、規約、役員が満場一致で採択されました。会長には埼玉県経営者協会々長・武州ガス(株)代表取締役社長の原宏氏が選任され、名誉会長としては、昨年八月タイのプミポン国王から白象勲章を受章している土屋県知事が就任しました。



役員紹介



名誉会長
土屋 義彦
(埼玉県知事)



顧問
山口 泰明
(衆議院議員)



顧問
土屋 品子
(衆議院議員)



会長
原 宏
埼玉県経営者協会
会長・武州ガス(株)
代表取締役社長



副会長
泉 肇
イズミ工業(株)
代表取締役会長



副会長
増野 武夫
埼玉経済同友会
代表幹事



副会長
吉野 重彦
埼玉県商工会議所
連合会会頭



幹事
横田 誠
(株)エンプラス
代表取締役会長



幹事
大久保 敏三
(株)丸広百貨店
代表取締役社長



幹事
杉浦 忠雄
本田技研工業(株)
管理部長



監事
西條 正和
新電元工業(株)
常務取締役



監事
伊藤 明
ユウアイ電子(株)
代表取締役社長



事務局長
原 敏成
武州ガス(株)
専務取締役

友好の願い、いま形に

創刊、おめでとう



埼玉県知事 土屋 義彦

の交流が更に深まっていくことは、大変、時宜を得たものと思っております。

今後、会員の皆様方のご努力によりタイ王国と日本国埼玉県との友好関係の更なる発展を心より期待しております。

両国民の

相互理解に期待

タイ王国大使

サクティブ・

グライラーク



埼玉・タイ王国友好協会の第一号のニュースレターでご挨拶させていただきますことを大変

光栄に存じます。

今年の三月十六日に設立された当協会は埼玉県事業研修生受入れ、ダルニー奨学金への協力、学校建設資金の積み立て、親善訪問、広報ニュースの発行等様々な活動を予定していると伺っております。とりわけ、この広報ニュースは当協会の上述した活動を日本社会に紹介する重要な役割を果たすと思えます。これはタイの子供の教育水準を向上させるだけでなく両国民の相互理解にも大変役立ちます。当協会

の様々な活動を高く評価したいと思えます。

また、十月三十日から十一月六日まで当協会の会長の原宏様が二五名の埼玉県経営者を率いてタイを訪問されますが、これはタイと埼玉県の企業の貿易・投資の緊密な関係をよく反映しています。現在タイへ進出している埼玉県の企業は四十社に上ります。

私は、当協会はこうした様々な活動や努力で両国の友好関係を政府、民間レベルの両方で、より強化していく役割を演じてゆくと確信しております。この機会を利用して頂いて、当協

会がますます発展し、様々な目標を達成できることを心からお祈り申し上げます。

草の根外交の

決意を新たに



会長 原 宏

今日、私たちを取り巻く世界の環境はあらゆる面で国際化が進んでおります。埼玉県からも

多くの企業が世界各国に進出して、昨今埼玉県において、「埼玉県国際経済交流懇話会」が発足しました。また、タイ王国からは、アユタヤ県の経済使節団が来県されました。タイ王国と日本は古くから交流を深め親善を増しており、懇親会での土屋知事のお話の中にあつたように両国の間には、様々な分野で交流が盛んになっております。また多くの企業、工場が進出し、経済活動を行っております。

このような中「県内の企業、経済団体が中心となりタイ王国

との友好親善を民間レベルで推進していきましょう」という趣旨のもと、昨年十二月「埼玉・タイ王国友好協会」設立発起人会を開催し、その後タイ王国進出企業関係者の方々をはじめ多くの皆様のご賛同を頂き、わずか三か月足らずの短い期間に企業団体一六九、個人会員六八名、計二三七人の入会を頂き、設立の運びとなりました。

今回はからずも、会長を拝命致しました。浅学、非才、微力者でございますが、一生懸命努力致し、会の目的達成のために尽くしたいと思っておりますので、会員はじめ、関係者の皆様のご指導ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

* 会員募集中 *

埼玉・タイ王国友好協会では、多くの県民の皆様へタイ王国を理解していただき、友好活動を積極的に進めていくために、常時会員を募集しております。

年会費 法人会員 2万円
個人会員 2千円

申し込み 埼玉・タイ王国友好協会事務局
問合せ (武州ガス(株)内) TEL 0492-47-5428
FAX 0492-46-2118

土屋知事を名誉団長に二十二名が参加



当友好協会設立を前にした、一月十三日から十七日までの五日間、土屋知事を名誉団長、埼玉県経営者協会の原宏会長（当友好協会々長）を団長とした埼玉県タイ経済・友好親善訪問団総勢二十二名が、タイ王国を訪問しました。昨年十一月、タイ王国のアユタヤ県知事を団長とする経済使節団が来県し、タイへの投資セミナーや県内企業の視察などを実施し、タイ訪問の要請を受けていたのに、応えたものです。参加したのは海外進出に関心を持つ県内企業で作った「埼玉県国際経済交流会懇話会」のメンバーです。

修生として県の施設で受け入れたことのある「タイ環境研究研修センター」を訪問。また、アユタヤ県のユワット知事を表敬訪問し、農業、工業、保健の分野について協力を要請されました。さらに、サハラッタナコーン工業団地や本田技研工業など県内企業が進出しているロジャナ工業団地を視察、予定外のパンパイン工業団地視察では、立地環境の良さをアピールされました。十五日に訪れたタイ投資委員会（BOI）では、副長官から景気回復に向けての対策などの説明がありました。

十五日には、スリン外務大臣を表敬訪問しました。また土屋知事はシリキット王妃、シリントーン王女らタイ王室との会見を通じ、両国の友好親善を深めました。

参加者からは、タイ側の投資、誘致等の熱意や地方の広大な土地、仏教を信ずる国民性など多くの感想が聞かれ、これにより「埼玉タイ王国友好協会」設立の機運が更に盛り上がりました。



企業訪問

「タイ国泉ピストン」社

「タイ国泉ピストン」のタイ現地法人設立は1972年、すでに27年の歴史を刻んでいる。普通、機構部品であるピストンは子会社で生産するケースが多いが、同社が受注生産できるのは、特殊技術をもっているため、完成車メーカーの信頼度は高い。

昨年6月、自ら陣頭指揮に立つため、中西努取締役社長がタイに赴任した。97年後半から通貨、金融危機の影響でタイの自動車販売台数が、ピーク時の4割に落ち込み、輸出努力と、生産の効率化が課題となったからだ。

中西社長は課題解決には高付加価値化への道が不可欠として、まず企業体質の改善に取り組んでいる。その要素として「品質向上」「システム改善」「PM」を挙げ、これらを統合した形で進めている。社員を主体的に参加させるための組織作りも徹底した。昨年7月にはタイで9社目となるQS9000を取得したが、これは米国のビッグスリーが部品納入の条件として掲げているものだ。

その後、タイの自動車産業の活性化により、同社の生産も上向きはじめている。



ダルニー奨学金制度に協力



ダルニー奨学金制度は、タイ東北地方の子供の中学進学の手援をする国際教育里親支援です。当友好協会では、本年度事業の友好協力事業の一つとして、このダルニー奨学金への協力（十名に三年間）を決めています。

本年度の友好協力事業

埼玉・タイ王国友好協会では、去る五月十日、役員会を開き、本年度は、次の六つの友好協力事業を行うことを決定しました。

- ・埼玉県環境生活部推進課の国際協力事業研修生受け入れ協力
- ・ダルニー奨学金へ協力
- ・学校建設資金の積み立て
- ・タイ王国内の学校建設資金として、本年度五十万円を積み立てる
- ・親善訪問
十一月～二月に実施予定
- ・広報ニュースの発行
- ・タイ王国および当友好協会の情報提供を目的として年二回発行する
- ・（財）中小企業国際人材育成事業団（略称アイム・ジャパン）が主催する、本年十月上旬に開催する第一回日本・タイ高校生親善交流行事において企業訪問・歓迎行事で協力する

タイにアクセス

会員 VOICE

老後はタイに住みたいくらい好き

大宮市 原田啓子さん



主人の赴任に伴い、バンコクで2年半ほど暮らしました。私が接したタイの方々はとても親切で、道に迷った時には、家まで連れてきていただいたこともあり。老後はタイに住みたいと思うくらい、タイが大好きになりました。

帰国してから、何かつながりを持っていたい、タイの子の里親をしています。家でも時々タイ料理を作ったり、タイ料理の店に行ってタイ語をしゃべったり…。ヨーロッパなどの外国旅行の話が出て結局はタイに行ってしまうんですよ。

日本のテレビなどでは、水上マーケットばかりが放映されていますが、タイには趣のある素敵なホテルがいろいろあります。ぜひタイへお出かけください。

タイ・ローカル情報

8月にブルネイの首都バンダルスリブガワンで「第20回東南アジア大会」が開催され、10カ国の選手、役員、4,000人がこの大会に参加した。タイからも361人の選手が参加し、参加国の中で最多の65個の金メダルを獲得した。なお、他国のメダル獲得数は、57個→マレーシア、44個→インドネシア、23個→シンガポール、19個→フィリピン、17個→ベトナム、4個→ブルネイ、3個→ミャンマー、1個→ラオス。

次の開催は2001年に「第21回東南アジア大会」として開催される予定。

得

徹底した現地取材 頼りになる案内書



「地球の歩き方」(ダイヤモンド社)という旅のマニュアル本があるのを知っていますか。編集長が川越市の方で、当友好協会に「タイ編」と「バンコク編」を寄贈してくださいました。

読み進むと徹底した現地取材を元にした制作ということがよくわかります。説明用の写真にも生き生きとした「現場」の表情があり、本文も見出しの工夫と共に、非常に具体的しかもきめ細かな内容になっています。例えば「セーフティボックスについて」という項目には説明と共に、「このタイプなら安心できる」という説明文付きの写真が載っているといった具合です。

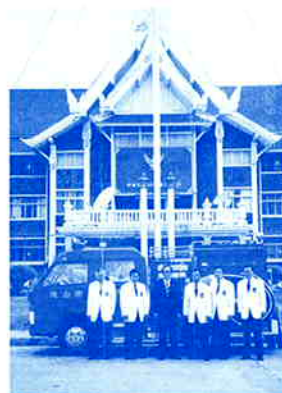
今すぐ、あるいはいずれタイに行ってみたい方はもちろんですが、ツアー旅行から抜け出したいとお考えの方にも、ぜひお勧めです。個人旅行の第一歩を踏み出すことになるでしょう。

タイアラカルト 狭山市が 消防車を寄贈

VOL. 1

去る6月、狭山市がタイ王国のノンタブリ県に、消防ポンプ車を寄贈することを決め、町田市長が出席して現地で贈呈式が行われました。このポンプ車は、サイノイ市に配属され、寄贈後、稲刈り後の稲を燃やした火が民家近くまで広がり、早速このポンプ車が出動し、またたくまに鎮火、その威力に集まった市民が驚いたそうです。

町田市長は、当友好協会に個人会員としても名を連ねています。



- タイトル文字は飯能市の書家、福田博子氏にお願いしました。「さわっでい」はタイ語で「こんにちは」の意味です。(O)
- 創刊号が発行できたのは、多くの人々の結晶、これからお世話になります。(H)
- 「ほほえみの国タイ」、歴史、文化等の奥深さとその魅力が聞こえて来ます。(Y)
- タイとかけまして、↓ありがとうと解く。そのココロは↓コップンクラップ (I)

編集後記

佐藤、小河原及び日本に留学をしていた、ウボンワンが皆様の連絡をお待ち申しております。

当友好協会のタイ事務局は、バンコク市内、UI ELECTRONICS (THAILAND) CO., LTD. の中にあります。
TEL 6 6 2 1 7 1 2 1 7 2 9 0
FAX 6 6 2 1 7 1 2 1 7 2 9 2
場所は、市内をカンボジア国境まで長く続くスクムビット通り、ソイ55(トンロー)です。周りの地区は、世界中のレストランが軒を連ねている所でも有名です。

UI Electronics
(Thailand) Co., Ltd.



タイ事務局のご案内